

二夕 磐城時報 日刊 編輯者 石城郡平町掛屋町十四 印刷所 石城郡平町掛屋町十四 印刷部 石城郡平町掛屋町十四 電話 二八〇 郵政掛號 第一四一號 廣告料 一行十四字 日金五拾錢 月刊(日曜、祭日) 休刊

石城の家屋賃貸價

大部分は増額となる けふから三方部に分ち 全員委員で協議

石城郡に於ける各町村家屋賃貸價格調査第二次委員会は一日から四日まで平町各種團體事務所で開催中の事昨報の如くであるが、各町村委員で調査決議した賃貸價格は平町、江名町、小名濱町、湯本町、内郷村、四倉町、川前村の五町二ヶ村の決議額が縣から認められたのみで他の各町村は殆んど修正増額され減額に修正されたのは永戸、箕輪、三坂、澤渡兩組合村のみである修正増額されたうちで最も其たしいのは大浦村で一坪につき一圓二錢を増額された。郡下に於いて最も賃貸價格高率なのは平町の七圓六錢、湯本町の五圓十錢、四倉町の四圓七十五錢、小名濱町の四圓四十四錢等である、この平均賃貸價格は三圓三十錢で、縣では三圓五十六錢に増額したが、今日日は郡南、平郡北の三方部に分ち夫々委員會を開いて協議する事になった、石城郡各町村に於ける家屋一坪一年の賃貸價格並に縣が修正した増減額左の如くである。

鹿島	二、四〇	湯本	二、三〇	湯野	二、二〇	湯野	二、一〇	湯野	二、〇〇
湯野	一、九〇	湯野	一、八〇	湯野	一、七〇	湯野	一、六〇	湯野	一、五〇
湯野	一、四〇	湯野	一、三〇	湯野	一、二〇	湯野	一、一〇	湯野	一、〇〇
湯野	〇、九〇	湯野	〇、八〇	湯野	〇、七〇	湯野	〇、六〇	湯野	〇、五〇
湯野	〇、四〇	湯野	〇、三〇	湯野	〇、二〇	湯野	〇、一〇	湯野	〇、〇〇

石城販賣利用組合で 脱退者の防止策

出資金半額を没収する事とし 縣に認可方を申請

石城販賣利用組合では此の程總代を開き定款一部を變更し、組合員脱退の場合には拂込金の半額を拂戻す事を決議し、九百九十名名の組合員に通知したが、従来は組合員が脱退する場合には出資金半額を拂戻する事となり、近頃は半額を没収する事となり、右に於いて組合員理事者は、石城販賣利用組合では四倉前市場の如き多額の固定資金を有してゐるが、脱退者が續出するやうでは組合維持が困難であるため定款を改正した。と語つてゐるが、この決議を知つた組合員は最近動搖を來し定款改正認可前に出資金額を拂ひ戻さねば損である、脱退者續出の模様である。

十萬圓漁獲

石城郡豊岡村大敷網は去る五月投網以來すでに十萬圓の漁獲高を示し大喜びであるが、一方小名濱大敷網は思はずからす約二萬圓に過ぎない状態である。

上半期成績

常磐炭礦界は不況のどん底にあつたが、去る上半期の成績を見ると、各炭礦共此の不況を如何にして打開すべきかについて頭を悩ましてゐる。

小名濱町の磐城水産工業 不況時でも配當

小名濱町磐城水産工業株式會社が、第四期決算總會は二十九日開ける二大炭礦磐城、入山兩礦の催、出席者委任状合せて百二十本本年度上半期の成績を見るに、一、一萬三千株で社長小野晋平の氏議長席に就き營業報告に經過の詳細説明した。 今期純利益は一萬九千八百八十圓七十三錢五厘前期繰越金二千六百六十七圓四十三錢合計二萬二千五百四十八圓十六錢五厘の總益となり、これを處分すること法定積立金一、千圓、固定資本銷却金四千五百圓、役員賞與一千五百圓、配當年五分一萬二千五百圓、後期繰越三萬四千八百八十六圓である。

四倉漁業で 貸金整理

石城郡四倉町漁業組合では魚類の販賣貸付金三千余圓を整理する事となり平區裁判所に申請二十九日、三十日の兩日同町豊田清治外三十七名に對し差押處分を行ったので債務者一同恐怖を來してゐる。

民政黨祝賀會

民政黨では二日午後一時から平町南町クラブで濱口内閣滿一ヶ年の祝賀會を開催した。

子供を 預けて逃げる

斯の如く好況時代には二割以上平町材木町佐竹久二妻(四一)はの配當をなした大炭礦も一期に去る五月三日同町六丁目高野某の配當を如何に不況に依る打撃が甚見一人を月十一圓で養育を引受大であるかを物語るものである。

毒饅頭の主人公 今度は實母を殴る

石城郡飯野村大字南白土富家江なつたと傳へられてゐるが、此尻庄作孫江尻(二二)は嘗て程飯野村の自宅に至り金を無心に置き祖父、父その他家族の毒を企てたが看破された事あり、所謂毒饅頭事件として評判になつた人であるが、その後、好問村字上好問岡田川炭礦後山に愛妾山本(二四)と情を通し時半頃作業中落盤で惨死した。

落盤で惨事

好問村字上好問岡田川炭礦後山に愛妾山本(二四)と情を通し時半頃作業中落盤で惨死した。

訓練の或る朝(一幕)

幕開く... 舞臺の中央には大卓あり、それを取り圍んで五六脚の椅子がある。南に面して窓あり、開け放たれたる窓からは初夏の新緑が見ゆる心持。西の隅に書籍、調子の類うづ高の積まれたる。正面には墨根鮮かに「盡忠報國」の一額が懸つてゐるのみにて特別の裝飾をほどこさず、飽迄も堅實質素を旨とせらる軍装いかめしき教官藤田中尉新聞片手に不愉快な面持して室の中を行つたり來たりしてゐる。

訓練生園谷定一、助教中野上等兵に導かれ下手より登場の禮を乞ふ。藤田教官二人を見やりながら藤田「オ、中野か? 待つてゐた、園谷も來たか? 待つてゐた、藤田「外でもないが... 新聞記事の事だ、園谷お前の書いた記事を読んで見え片手にもつてゐる新聞を園谷の前におしやる。園谷は心持ハツとしたが、臆する色も見せず不動の姿勢のまま、出された新聞「磐城時報」を受け取り自分の記事をはき、六月十四日待ちに待つた吾等が血路る平訓練生自轉車行軍の日である。

看護婦派
出の需
めに応
じます

平野清野會
長 野清野
副 野清野
電話三〇七番

無料 眼鏡 TOKIWAYA

無料 眼鏡 無料 検眼

専門眼科醫師擔任
價廉物美 調整正確
切品時度 親切商示

近視 老視 亂視 遠視 斜視

御客様本位

平野一丁目 常盤屋時計店

畫映大念記年周五十二戰海大海本日

助援御 省軍海

大日活會社 空前の壯舉

滅撃

日本海軍は皇國の興隆を一擧に決し、國威を世界に發揚したる光輝ある歴史として吾人日本國民の忘る可からざる處である。此の海戦二十五周年を迎へるに當り小笠原中將閣下の原作に基き映畫(滅撃)を製作して深く之れを記念するものである。これに際して帝國海軍後援の下に當局各位が畫夜兼行よく御指導を下され且つ破格の便宜を與へられたる事は感謝の極みである。殊に東郷元帥閣下が此舉に賛同せられたる事は誠に映出するを特に承諾せられたるは本映画の最も誇りとする所以である。

謹みて敬意を表す

日活傑作中の傑作・原作 佐々木味津三
小川 隆・梅村 蓉子・主演
武會士 旗本風流陣 全
中山介・永井寛二郎・磯川元春 助演
中山介・澤村泰子・山本絹江
監督・佛生寺彌作

松竹蒲田超大作名畫
昭和娘・都會風景の
探偵 夜の牝猫 全
八雲惠美子・岡田宗太郎・木村健兒 共演
藤野秀夫・横尾泥海男・石山龍嗣

七月三日 破額通普 松竹 日活 平館 電466

五色葵 讓る

平野新川町 中野勇吉 電話一三三番

印刷物は 加納活版所

共栄ト存共△
融金ノ易簡△
蓄貯ノ味趣△
堅ト意誠△

會商盡無城磐

三日のむだらピツタリまよる
新治 淋 トリプチン

定價(三日分壹圓 七日分二圓 十一日分叁圓 廿日分五圓 四十五日分 拾圓)

平野一丁目 電話六四二番

特約一手販賣店 大平屋藥舖

衛生試驗所

検査一回 金十五錢 其他 牛乳 尿一回一種 金二十錢 水、鑽石等

産兒制限相談所 (無料)

消毒所 (蒲團一枚 一圓五十錢以上 衣類一枚 三十錢以上)

月やく強流下藥專賣所「京都、西山研究所製」

平野三丁目 宇佐美藥局 電話一六六番

座宮美人丸特約店 宇佐美藥局 電話一六六番

内科 小兒科 (入院應需) 藤沼醫院 平野紺屋町 電話平野五〇七番

夏服

輕快で瀟洒な夏服の季節となりました。スマートな今年度の新製品が豊富に取揃ひました。

◆輕裝上衣 黒セル 4.20=、カシミア 10.00=、白直衣 1.60=、白ツボン 2.60=

平野 赤かや洋服店 電203

花柳病科 專門

木村外科醫院 平野六丁目橋際 電話三〇九番

夏物新安値品大賣出し

驚異的獨自の廉價! 白熱の……七日間

◆特 價 品

□モス着尺 二圓九十錢 □江戸中形 一圓ヨリ
□模本銘仙 三圓八十錢 □白 綿 四十八錢
□編本銘仙 三圓五十錢 □手拭中形 六十五錢

外かや類、中形類大提供

三井吳服店 平野 電話七五八番

ラヂウム温灸器

胃腸病の必治法

一貫や三貫らくく、肥る世界的健康法

特約治療 志賀齒科醫院 福島縣平野五丁目二八

販賣部 產婆 關口悦子

「温灸治療法」百三十頁の美本無代進呈

婦人俱樂部浴衣の 一重福引付大賣出し 賣出期間 七月一日ヨリ七日間

大日本雄辨會講談社の懸賞金：貳萬圓

東北特約店 三井吳服店にて賣出し期間中婦人俱樂部浴衣御買上の方に限り一反毎に福引券呈上

◎賞品 一等 婦人俱樂部浴衣一反 二等 大典紋一反 三等 白地反物一反 四等 化粧用ガーゼ手拭本 (空箱なし)